

2-4-1. ゼロカーボンシティの実現



めざすべき姿

産官民の脱炭素化による地域づくりを通じて、環境意識の高い地域として認知されるよう、今治ブランドの価値向上を図ります。これにより、「瀬戸内の脱炭素世界都市」を目指します。

現状と課題

【本市の現状】

1. 2050年ゼロカーボンシティの実現

脱炭素化は、世界全体で温室効果ガス排出を実質ゼロにすることを旨とする地球規模の課題です。今治市は2023年1月にゼロカーボンシティ宣言を行ったほか、2025年5月には、国の脱炭素先行地域に選定され、脱炭素化と地域課題の解決に両輪で取り組んでいます。

2. 脱炭素化に向けた市民意識・行動の変容

2022年度の今治市のCO₂排出量は産業71%、家庭8%、業務その他部門7%、運輸部門13%、廃棄物分野1%となっています。2050年のゼロカーボンシティ実現には企業、市民、行政が一体となって、あらゆる分野で脱炭素を自分事化することが不可欠です。

【課題】

1. ノウハウ・マンパワー・予算不足の解消

脱炭素化を進めるためには、技術的なノウハウ、専門的なマンパワー、十分な予算の確保が必要です。これらの不足を解消するためには、官民連携や外部資金の活用、地域全体の人材育成などが重要です。

2. 脱炭素化を通じた地域への新たな価値の付与

脱炭素先行地域に選定された今治市は、脱炭素化による地域課題解決により新たな地域価値を創出し、持続可能な発展を目指す必要があります。この取り組みは今治ブランドの強化にもつながり、地域の魅力を高めることにつながります。

3. 脱炭素化実現のための環境整備の推進

今治市は地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の着実な履行のため、市民・事業者・行政が一体となって省エネ化や再生可能エネルギー設備等の導入を進め、CO₂排出量を削減する必要があります。

写真

XX
XX
XX
XX

主要な取組

1 地域ぐるみでの脱炭素経営支援の推進

官民が連携して支援体制を構築し、市内事業者等へ、意識変容・行動変容・行動サポートまで一貫したプログラムを提供します。プログラム受講者を脱炭素経営の推進役「バリグリ（今治グリーンフェロー）」として認定し、コミュニティの力で産業部門をはじめとする地域の脱炭素化を推進、取組そのもののブランド化を図ります。

2 脱炭素先行地域（しまなみ海道×今治タオル産業群 脱炭素ブランド化）プロジェクト

しまなみ海道と今治タオルという2つの地域資源をハード・ソフトの両面から脱炭素化します。住民や事業所に対し再エネ導入などを進め、環境と経済の両立を図る脱炭素モデルを構築します。さらに、情報発信や金融機関との連携した独自支援策の展開により、ブランド力向上・経済活性化・観光振興にもつなげます。

3 市民の脱炭素化推進を促すしかけづくり

家庭部門における温室効果ガス排出の削減を促進するため、家庭用燃料電池、蓄電池、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）、ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）などの環境に優しい設備を導入する際に、設置費用の一部を補助します。

関連する個別計画

計画名	計画期間
第二次今治市環境基本計画	令和1年度～令和10年度
今治市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	令和6年度～令和12年度
今治市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	令和6年度～令和12年度

市民や企業・団体をお願いしたいこと

●市民

脱炭素化等の情報や手法が分からないときは、積極的に本市や関係団体へ相談し、意識変容・行動変容をお願いします。

●企業

施策の積極的な利用（補助制度の利用、知識習得のための学習機会への参加）等を通じた意識変容・行動変容をお願いします。

●関係団体

地域での機運醸成のため、脱炭素化に関する積極的な情報発信をお願いします。

夢やふるさとへの誇りを持ち、市民が主役のまちづくり

魅力にあふれ、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくり

世界に誇れる強みや魅力を醸成し、発信するまちづくり

安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

施策大綱 1 夢やふるさとへの誇りを持ち、市民が主役のまちづくり

基本目標	施策	目指すべき姿	主要な取組
結婚・出産・子育て支援の推進	1-1-1 今治の未来を育む、子育て世帯への切れ目ない支援	子育て・子育てを切れ目なく伴走型で支援する「今治版ネウボラ」を多世代が関わる大きな輪へと広げ、若い世代が自らの希望に沿ったライフデザインを描けるまちを目指します。	①妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援 ②こども・若者、子育て世帯にやさしい社会づくりのための機運醸成 ③若い世代がライフデザインを描けるよう、意識啓発や情報提供の強化
	1-1-2 地域の輪を大切に安心して子育てできる環境づくり	こどもが自分自身の幸せを実感しながら成長し、地域で心豊かに生活していけるよう、こどもの権利を守り、成育環境を整え、持続可能な明るい希望の持てるまちになることを目指します。	①こども・若者の権利の擁護、社会参加の促進と虐待やいじめなどの人権侵害の防止 ②子育てや教育に係る経済的支援の充実と支援 ③支援が必要なこども・若者を対象とした支援 ④こども・若者の視点に立った居場所づくりと地域全体での子育て支援の環境づくり
	1-1-3 安心して子どもを預けられる就学前教育・保育施設の充実	すべての子どもが質の高い保育を受けることができる子どもの成育環境が整ったまちを目指します。	①安心安全な保育環境づくり ②保育の質の向上 ③多様化する保育ニーズに対応する環境づくり
教育の推進	1-2-1 今治の未来となる子どものための教育環境の充実	老朽化の進んだ校舎・屋内運動場等の改修、トイレ洋式化等、安全安心と学びを充実させ、また、学校の適正配置や通学手段の確保を行いながら、教育環境の充実を図ります。	①学校施設の整備 ②地理的条件によらない質の高い学びの確保 ③学校適正配置について
	1-2-2 子どもの学びを支える学校運営の効率化	ICTの推進を図るため、現在使用している通信サービスおよびプロバイダサービスの見直し・改善を行うなど、ICT化による教育環境全体の効率化を図ります。	①学校の通信環境改善 ②支援スタッフの配置 ③語学補助支援率の増加
	1-2-3 今治への誇りを育む特色ある教育の推進	先進グローバル教育の推進を行い、英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成し、次世代を担う人材を育成します。また、日本一おいしい給食やふるさとキャリア教育を実施することで、郷土愛の育成に繋がっていきます。	①グローバル教育 ②ふるさとキャリア教育 ③日本一おいしい給食事業
	1-2-4 今治の子どもを守るための青少年の健全育成	児童クラブでは待機児童ゼロを目指します。地域と子どもたちをつなぐコミュニティの場となるよう公民館や図書館を活用し、また、青少年については、自立した大人へ成長できる環境を整備します。	①こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり ②誰一人取り残すことのない学びの実現 ③教育相談活動 ④明るい家庭環境と子どもの居場所づくりの推進 ⑤児童生徒の健全育成の推進 ⑥青少年の健全育成の推進 ⑦ブックスタートによる子育て支援
スポーツによるまちづくりの推進	1-3-1 今治をわくわくさせるスポーツ振興	「スポーツを通じて笑顔と健康生涯スポーツのまち いまばり」を基本理念に、幅広い世代がスポーツを通じて、健康になり笑顔あふれるまちを目指します。	①スポーツを通じた健康増進 ②スポーツを通じた共生社会の実現 ③今治市の多様なスポーツ特性を生かした交流まちづくり
	1-3-2 サイクルシティの推進	外国人を含む多くの旅行者が愛媛県・今治側にも足を延ばして観光にやって来て、今治でサイクリングを楽しみ、宿泊・滞在するような流れが定着していることを目指します。	①サイクリストの誘客促進 ②サイクルシティ構想の進化／深化／真価 ③自転車走行環境整備
文化・生涯学習の推進	1-4-1 今治の歴史ある文化芸術の振興	今治の文化をしっかりと継承し、歴史と誇りを未来へとつなぐとともに、若者世代が気軽に文化芸術に親しむことができる環境づくりにより、創造的で活力ある心豊かなふるさと今治を目指します。	①文化芸術活動の推進 ②文化芸術施設の管理運営と戦略的活用
	1-4-2 今治の歴史を守るための伝統文化の保全	市の文化財等を丁寧に調査、保護し、地域の歴史や伝統文化を大切に守り伝えることで、伝統文化の担い手や地域の一員として、市民が誇りと愛着を持てる、魅力あふれるふるさと今治を目指します。	①伝統文化や文化財の保存・継承 ②伝統文化や文化財の戦略的な活用 ③郷土料理の保存継承と活用
	1-4-3 誰もが楽しめる生涯学習の推進	人生100年時代を迎え、誰もが文化芸術、スポーツ活動等に親しみ、自分の可能性を開花させることができるとともに、豊かさを次世代に引き継ぐために、みんなが考え、行動することに喜びを感じられるまちづくりを展開します。	①図書館を身近に感じられる魅力あるサービスの向上 ②生涯学習の振興 ③育ちのサテライトを展開する魅力ある図書館づくり
多様性理解の推進	1-5-1 男女共同参画・人権啓発～誰もがいきいきとできる社会へ～	今治市人権都市宣言を基本理念とし、人権侵害がなく、あらゆる立場の人々が互いの人権を尊重し合い、個性と能力を発揮することができる社会の実現を目指します。	①人権啓発事業 ②男女がともに参画する家庭・地域・職場づくり ③仕事と家庭の両立の推進に向けた意識啓発
	1-5-2 今治と世界を繋ぐ、国際理解・多文化共生	外国人と日本人とが共に生き生きと生活できる社会を実現し、すべての人が一人ひとりの多様性を尊重し、互いにその人らしさを認め合い、生涯にわたって安心して暮らすことができるまちを創る	①外国人定住や住みやすさの支援 ②コミュニケーションや暮らしやすさの支援 ③多言語化と多文化共生による相互理解の支援

施策大綱 2 魅力にあふれ、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくり

基本目標	施策	目指すべき姿	主要な取組
福祉環境の整備	2-1-1 今治の輪を強める、福祉体制の整備	地域で暮らす全ての人が心身の健康を維持しながら生きがいを持って安心していただけるまちにするともに、災害が発生したときに、自力で避難が困難な高齢者や障がいのある人など、避難に支援が必要な全ての方の名簿や個別避難計画書が整備され、この情報をもとに、避難支援体制が構築された地域を目指します。	①医療と介護の連携強化の推進 ②地域福祉活動の推進と包括的な支援体制の整備 ③避難行動要支援者避難支援対策事業
	2-1-2 高齢者への支援 ～誰もが住みやすいまちへ～	高齢になっても、最後まで自身の意思が尊重され、必要な支援が受けられるよう、地域で支え合うことによって、安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。	①終活サポート事業 ②高齢者を見守る地域の体制整備 ③認知症高齢者に対する支援促進
	2-1-3 誰も取り残さないまちとして、様々な困難を抱える人への支援	障がいの有無に関わらず、市民の誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」の実現を目指すと共に、誰もがいきいきと輝く未来に繋がるまちづくりを進めます。	①地域生活の支援（相談支援体制の充実） ②雇用・就労、経済的自立の支援や社会参加の促進 ③差別の解消・権利擁護の推進や情報・コミュニケーションの活性化
	2-1-4 誰もが元気に暮らせる健康づくり	健康寿命の延伸を目指すべく、生涯を通じた健康づくりが推進され、検診による健康増進体制や、健康危機管理・地域医療体制が充実している安全で安心して暮らせるまちを目指します。	①がん検診の受診率の向上 ②生活習慣病の重症化予防 ③4か月児健康相談及び幼児健診受診率100%
医療体制・社会保障の推進	2-2-1 医療体制の維持・確保	救急医療体制の維持強化を図るとともに、看護師の市内定着数を増加させ、質の高い医療サービスを継続的に提供し続けられる体制を目指します。また、医療DXを推進し、医療機関へのアクセスが困難な方の通院に係る負担軽減を図ります。	①市内医療機関で働く看護師確保 ②救急医療体制の維持 ③オンライン診療の普及
	2-2-2 各種保険制度の適切な運用	予防医療の推進と健康寿命の延伸に取り組み、持続可能な医療制度の構築を目指します。収支の均衡を図りながら、安定的で効率的な事業運営を進め、誰もが安心して必要な医療を受けられる環境を整えます。	①健康診査の受診促進と生活習慣病の早期発見・予防の強化 ②保健指導の強化 ③医療費適正化の推進 ④介護給付適正化の推進 ⑤介護認定審査会のDX化
	2-2-3 誰もが活躍できる社会となるための社会保障と自立支援	だれもが安心して暮らすことができるよう、生活保護制度が適正に運用され、生活保護受給者の就労支援と自立を促進します。また、生活保護受給者以外の生活困窮者が自立した生活を送れるように支援を行うとともに、「貧困の連鎖」を断ち切り子どもの自立に向けて支援します。	①生活保護制度の適正な運用 ②生活困窮者自立相談支援事業
市民協働の推進	2-3-1 今治を一つにする地域コミュニティの活性化	年齢、性別、国籍に関係なく、同じ地域に暮らす住民全てが個性と能力を発揮できるコミュニティ環境をつくり、お互いを尊重し合えるインクルーシブな地域を築き、地域の絆を強くします。	①持続可能な社会の実現に向けた活動や学習機会の支援 ②公民館を核とした地域コミュニティの推進 ③持続可能なコミュニティ組織の構築に向けての支援
	2-3-2 多様な主体による誰もが主役になれるまちづくり	全ての市民の豊かな想像力や行動力がまちづくりに活かされ、地域活動の担い手の育成や団体運営の支援を通じて、行政と地域活動の主体となる市民が対等な立場で協働できる持続性の高い地域づくりを推進します。	①協働活動へのきっかけづくり ②まちづくりへの市民の声の反映 ③移住希望者の多様化するニーズに応じた環境の充実と情報発信
環境配慮の推進	2-4-1 ゼロカーボンシティの実現	産官民の脱炭素化による地域づくりを通じて、環境意識の高い地域として認知されるよう、今治ブランドの価値向上を図ります。これにより、「瀬戸内の脱炭素世界都市」を目指します。	①地域ぐるみでの脱炭素経営支援の推進 ②脱炭素先行地域（しまなみ海道×今治タオール産業群 脱炭素ブランド化）プロジェクト ③市民の脱炭素化推進を促すしきかけづくり
	2-4-2 ごみの減量・適正処理～循環型社会の実現～	県内における比較では、1人1日当たりのごみ排出量は平均より高い値となっており、ごみを減らすことや適正な処理を行うことで、美しい今治の環境を保持します。	①ごみ処理施設の円滑な運営 ②不法投棄への対策、環境美化の啓発 ③食品ロスについての認知度の向上および取り組みの推進
行財政改革	2-5-1 効率的なサービス提供・情報発信	スマート自治体への転換と、地域社会のDXに一体的に取り組み、デジタル社会において誰もが安心して暮らせるまちを目指します。また、行政サービスの利用促進等のため、施策や事業の情報発信力を強化します。	①行政手続きのオンライン化 ②デジタル社会への対応支援
	2-5-2 組織・人づくり	行政のDXが促進され、人口規模に見合った適正な職員数での多様化した社会に適応した行政サービスの提供が可能となった市役所を目指します。また、職員が今治市職員として誇りを持ち、働きやすい職場環境の整備を行います。	①人口減少に対応した今治市役所のあり方の検討 ②行政のDX化の推進と職員研修の実施 ③職員の働きやすい職場環境の整備
	2-5-3 健全な行政運営	デジタル技術の活用や業務の見直し、公共施設の最適化等を通じて、限られた財源を有効に活用し、市民サービスの質を高める持続可能な行政運営を目指します。	①歳出の構造改革と将来負担の軽減 ②歳入確保策の推進 ③未来を見据えた職員数の検討
	2-5-4 広域連携の推進	県内自治体や近隣の関係自治体との連携を推進しながら、スケールメリットや地域特性を活かした施策を効率的・効果的に展開し、持続可能な行政サービスが提供できるまちを目指します。	①愛媛県・県内市町との連携推進 ②関係自治体との連携推進

施策大綱 3 世界に誇れる強みや魅力を醸成し発信するまちづくり

基本目標	施策	目指すべき姿	主要な取組
商工業の振興	3-1-1 世界とつながる海事都市今治の発展	主要海事プレイヤーが集積している強みを活かし、魅力あふれる海事産業への変革や社会変化に対応した先進技術の実装、高度人材の育成、国際交流拠点・環境の整備を実現します。	①魅力あふれる海事産業への変革への推進 ②国際海事都市“IMABARI”への進化への推進
	3-1-2 今治と世界をつむぐタオル産業の発展	地域の特徴や資源を活かした基幹産業の振興を図り、伝統と技術を活かしつつ、ものづくり産業の競争力強化や多様な人材の確保・育成、新分野への展開を推進することで、地域に活力をもたらすまちを目指します。	①今治タオルプロジェクトの推進 ②タオル縫製士の養成
	3-1-3 今治を支える多様な地場産業の振興	地域の特徴や資源を活かした基幹産業の振興を図り、伝統と技術を活かしつつ、ものづくり産業の競争力強化や多様な人材の確保・育成、新分野への展開を推進することで、地域に活力をもたらすまちを目指します。	①地場産業の振興 ②食品・エネルギー産業の振興
	3-1-4 今治の未来を創る新たな産業の創出	資金・消費・投資に加え人の流れを地域に呼び込み、地域資源を活かして所得が好循環する持続可能なまちを実現し、稼げるまち「いまばり」を目指します。	①魅力あふれる地場産業のための環境整備 ②デジタル人材育成による省人化省力化の推進 ③立地環境の整備
農林水産業の振興	3-2-1 今治の食を育てる、農林業の振興	農林業共に新規就業者の安定的な確保を目指します。また、農業分野では農業が「安定した収入」「やりがいのある仕事」として認識され、学校給食や直売所、飲食店での有機農産物の利用が一般的になること、林業分野では森林経営管理制度の取り組みを充実させ、森林の適切な管理及び積極的な活用を目指します。	①新規就農者の確保・育成 ②林業就業者の確保 ③有機農業の推進 ④森林の適切な管理の推進
	3-2-2 今治の食を守る、水産業の振興	海洋環境の回復を目指すべく、藻場の造成事業や水産資源の保護による豊かな海を形成し、多様な年代が安全・安心で快適な漁業を営めるまちを目指します。	①水産資源の保護・育成支援 ②漁業活動の負担軽減支援 ③新規漁業就業者担い手支援
雇用機会・雇用環境の整備	3-3-1 誰もが活躍できる雇用機会の充実	市内の企業の魅力発信が進み、今治市で働きたいと考える人が増加するとともに企業の望む人材と就職したい企業とのマッチングが深まるまちを目指します。	①市内企業情報の発信支援 ②就職活動時等の負担軽減支援 ③能力向上支援
	3-3-2 誰もが快適に働ける雇用環境の整備	労働者が働き続けたいと希望する職場環境に近づき、望む働き方ができる企業が増えるまちを目指します。	①労働環境の整備促進 ②人材育成への投資促進
シティプロモーションの推進	3-4-1 今治の魅力を広げる観光の振興	訪日外国人を含む旅行者の多様なニーズに対応した環境が整備され、日本全国各地に無数に存在する観光地の中から、旅の目的地として選ばれる魅力を創出・発信することを目指します。	①広域連携推進による旅行者に対する魅力創造力の向上 ②広域連携推進による旅行者に対する魅力発信力の向上 ③インバウンドの受入れ環境の向上 ④滞在型観光を推進するための環境整備
	3-4-2 魅力あふれる今治ブランドの発信	海事、食品、今治タオル、FC今治、しまなみ海道、丹下健三建築群等の世界に誇る魅力を核とした今治ブランドを確立し、日本一選ばれるまちとして商い・移住が推進される「瀬戸内の世界都市」を目指します。	①デジタルプロモーション事業（今治ブランド戦略会議事業） ②今治市魅力発信・交流拠点創出事業（今治あきない商社事業）
	3-4-3 移住・定住の推進～ようこそ今治～	今治市への移住者及び関係人口（今治に知己のある者）を増加させます。	①Uターン移住につながる施策の実施 ②新規移住者の本市への定住促進 ③移住者を引き付ける魅力ある地域づくり

施策大綱 4 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

基本目標	施策	目指すべき姿	主要な取組
魅力ある都市の整備	4-1-1 にぎわいあふれる魅力ある市街地の整備	市民や来訪者の交流・活動を促し、まちの魅力向上に寄与する賑わい空間を創出するとともに、回遊性の向上による歩きたくなるまちなかの形成により、港の賑わいをまちなかに波及させる「今治らしい」中心市街地の再生を実現します。	①ウォーカブルなまちなかの形成 ②モビリティ・ハブの整備等による回遊性向上 ③公民連携に向けたエリアマネジメント体制の構築
	4-1-2 土地利用計画の推進	コンパクトにまとまった地域の拠点が公共交通ネットワークで結ばれることで、利便性が高く快適に暮らせる都市づくりを目指します。また、近年多発する自然災害に適切に対応した安全・安心に暮らせる都市づくりを目指します。	①適正な土地利用による持続可能な生活圏の形成 ②安全・安心な都市づくり ③今治新都市の広域交流、地域連携の拠点づくり ④持続可能な都市モビリティの活用推進
	4-1-3 今治をつなぐ交通・モビリティのり・デザイン	地域・交通事業者・行政をはじめ市民全員で誰もが利用しやすい持続的な公共交通を創出し、ずっと住み続けられるまちづくりに貢献するように、守り、育てていくことを目指します。	①地域の需要に応じた運行効率化、サービス改善 ②乗務員確保や免許取得に係る支援
	4-1-4 住環境の整備・空き家対策	住宅のレジリエンスや質の向上、空き家・空き地の適正な管理、利活用及び老朽危険空家の除却を推進すると共に、土地情報の整備を図ることで、安全・安心で快適な住環境の整備を目指します。	①住宅の減災対策及び老朽化対策 ②空き家・空き地対策 ③安心快適な住環境づくり
インフラ設備の整備・保全	4-2-1 上水道・下水道の整備	災害時においてもライフラインとなる「水」の供給を途絶えさせない体制を構築するとともに、日常生活を支えるインフラである「下水道」の耐震性や気候変動への対応力についても強化したまちを目指します。	①水道料金・下水道使用料制度の定期的な検証と見直し ②重要給水施設管路耐震化整備事業 ③下水道施設の計画・整備・更新 ④下水道人口普及率の向上
	4-2-2 道路・河川・港湾漁港等の整備	誰もが安全・安心で快適に利用でき、災害時にも市民生活への影響を最小限に抑える道路ネットワークを形成します。河川・海岸保全施設の計画的維持管理を実施し人命・財産被害の軽減を図ります。	①強靱な道路ネットワークの形成 ②河川施設の更新及び整備・適正な維持管理・海岸保全施設の強靱化
消防・防災・防犯対策	4-3-1 消防体制の充実	あらゆる事象に迅速かつ的確に対応できる消防体制を確立するとともに、市民に寄り添う質の高い消防行政サービスが提供できる組織を構築し、安全・安心なまちづくりを目指します。	①消防組織体制の強化 ②災害対応能力の充実と強化 ③火災予防の推進
	4-3-2 防災力の向上	各防災計画を整備し、互助の中心となる自主防災組織の充実・強化を図るとともに、防災活動を牽引する防災士の育成・研修に積極的に取り組み、市民が安心して安全に暮らせる「災害に強いまちづくり」に努めます。	①危機管理意識の醸成による地域防災力の向上 ②危機管理拠点の整備 ③防災体制の構築・強化
	4-3-3 防犯・消費者保護	一人ひとりの防犯意識及び地域の防犯意識の向上、また交通安全を心がけて行動する意識の向上に努めます。また、関係機関や関係団体との連携を強化し、犯罪・交通事故のない安全で安心なまちづくりに努めます。	①地域防犯力・交通安全対策の向上 ②消費生活センターの設置
自然環境・景観の保全	4-4-1 美しいまち今治の公園や緑の整備	住んでよかった、住みたくなるといった都市景観に関する基本的な考え方を示し、それらを活かしたまちづくりを推進します。また、公園の安全・安心を確保することで住民交流が促進され、にぎわいと交流が生まれる拠点を確保します。	①都市景観の形成と保全 ②公園施設長寿命化事業 ③グリーンインフラ推進への検討
	4-4-2 豊かな自然景観や生態系の保全	市民の景観・緑化意識を高め、「住んでよかった」「住みたくなると」思える、今治らしい景観づくりに関する基本的な考え方を示します。この目標に向け、行政、企業、地域の団体等が連携し、環境保護にも資する仕組みを構築していきます。	①今治らしい景観の形成と保全 ②環境教育活動の推進 ③今治ブルークリーンプロジェクト